

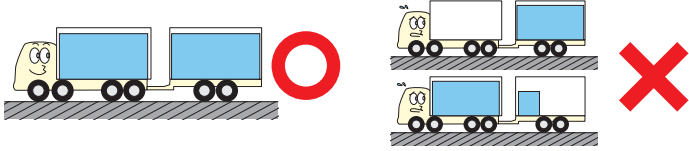


日本トレクスから安全輸送のお願い

センターアクスルフルトレーラ 積載、一般編

荷物の積載方法

前後の重量配分が均等になるようにバランス良く積載してください。特に荷物の重心が後方にならないよう注意してください。前や後ろに偏った積載方法は、連結装置を損傷させたり、走行安定性が損なわれ事故につながる恐れもあるので絶対にしないでください。



- ※荷物を積み下ろす場合、補助脚を使用し必ず車輪止めをかけてください。
- 単独で切り離してある場合…必ず前後の補助脚を下ろし、荷物の積み下ろししてください。
- トラクタと連結してある場合…必ず前側の補助脚を下ろして前から積み込んでください。荷物を下ろす場合は、後ろから下ろしてください。
- ※前後区別なく積み下ろしする場合は、必ずトレーラ前後の補助脚を下ろしてください。

タイヤ&ハブナットの運行前点検実施☑

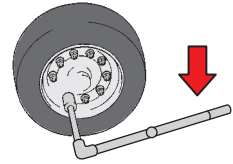


3.2mm以下高速走行禁止
1.6mm以下走行禁止



10穴ホイールは左右とも、右ネジになります。

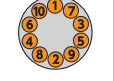
ナットの締付けは**対角の順番**で



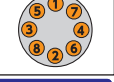
勢いをつけないよう、ゆっくり徐々に締付けます。

締付け順序

10本ボルトの場合



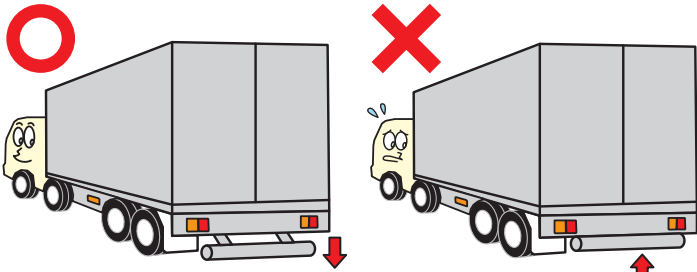
8本ボルトの場合



締付け規定トルク

- ① 10穴スチール&アルミ共通(ドライタイプ) ……600Nm~660Nm
- ② 8穴スチール(ウエットタイプ)…540Nm~590Nm
- ③ 8穴アルミ(ウエットタイプ)…440Nm~490Nm

走行時の注意



トラクタ単体で走行する場合、回転式リヤバンパーを必ず下ろしてください。
※上げたままエンジンキーを回すと警告ランプが点灯します。

ベルマウス操作ハンドルの作動確認



写真1

ベルマウス
操作ハンドル

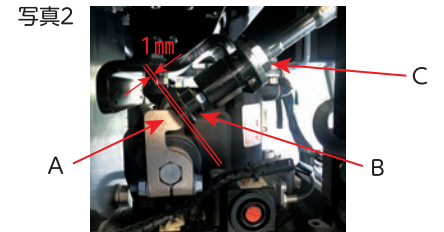
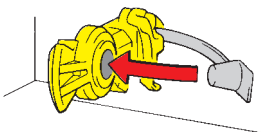


写真2

ベルマウス操作ハンドルの動きが悪いとき(カップリングピンが上がりすぎない等)、写真2のキャッチ(A)とプレッシャーピース(B)のクリアランスを点検してください。クリアランスは1mmが最適です。調整するには、ハンドル本体を車両から取り外し、ロックナット(C)を緩め、トランスミッションハウジングを回してください。クリアランスが1mmとなりましたら、ロックナットを締付、ハンドルを車両に取り付けてください。

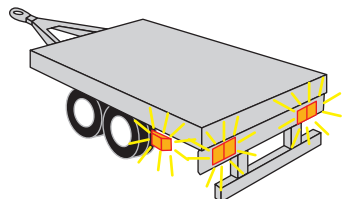
フタは必ず取付

切離した際は雨やホコリの侵入を防ぐため、**必ずフタ**をしてください。



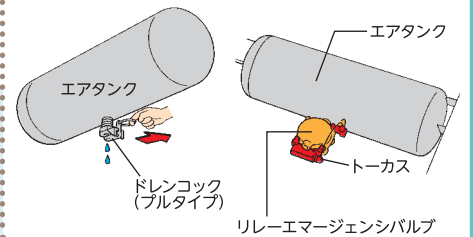
雨やホコリが浸入するとリレーバルブの凍結や作動不良の原因となります。また、サービスラインやエマージェンシーラインに入るとブレーキの解除遅れが発生し、引きずりの原因となります。

リレーエマージェンシーバルブの凍結について



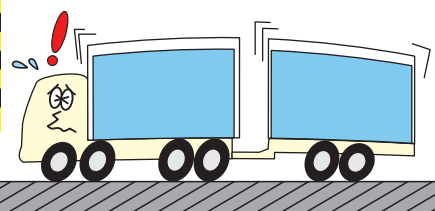
トレクスのトレーラはトーカー(リレーバルブヒーター)が標準装備されています。(2006年~)トーカーはスモール系の電源を使用しているので凍結時はスモールランプを点灯してください。(−10℃で凍結したバルブを約5分で正常に作動させます)

リレーバルブ凍結防止のため、始業開始時には必ずトラクタ&トレーラともにエアタンクの水抜きを実施してください。



異常を感じたら即停車

- ・タイヤのバースト。
- ・いつもより車両が重い。
- ・急に加速しなくなった。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・スイッチ類から煙がでた。



走行中に異常を感じたら、安全を確保した上で即停車し、車両を点検してください。

エア圧低下注意

一晩置いてエアが**100kPa以上減**っていたら**要点検**



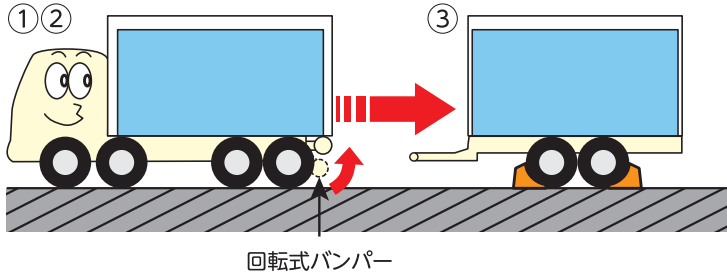
トラクタと連結して1晩置いた際、エア圧が100kPa以上減っていたら、エア漏れの点検を実施してください。

日本トレクスのトレーラに不具合が発生しお困りの際は、弊社営業マンもしくはサービス部までご連絡をお願いします。

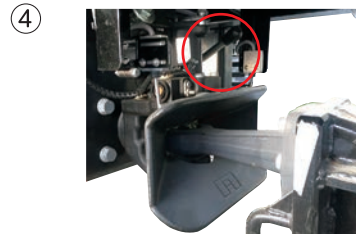
TEL 050-3367-7494

連結作業

- フルトレーラを平らな場所に置き、駐車ブレーキを作用させてタイヤに車輪止めをセットしてください。
- トラクタの回転式バンパーをしまい、フルトレーラの直前までバックさせ、ベルマウスとドローバーアイを接近させます。
- フルトレーラの前側補助脚で高さ調整を行い、ベルマウスとドローバーアイの高さを合わせてください。
- ベルマウス操作ハンドル若しくはハンドレバーを回し、カップリングピンを引き上げてください。



回転式バンパー

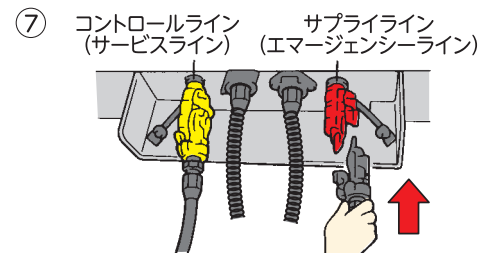
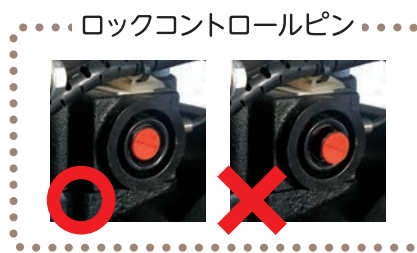
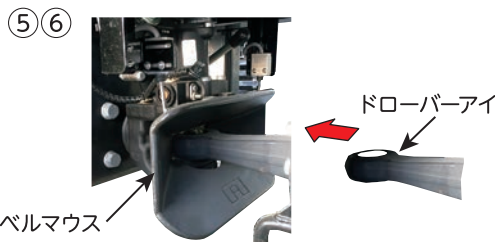


ベルマウス操作ハンドル



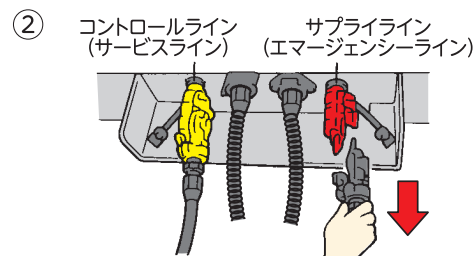
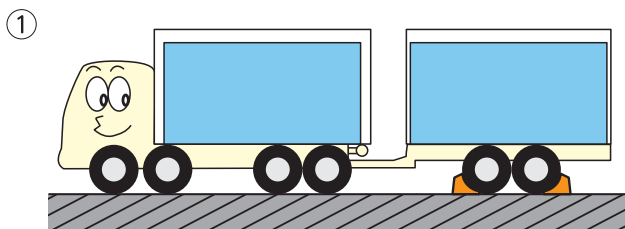
ハンドレバー

- 再度、トラクタをゆっくりバックさせカップリングピンヘッドとドローバーアイを連結させてください。
- 連結後、ベルマウスのロックコントロールピンが突出していないことを確認してください。
※ロックコントロールピンが本体より突出している場合は、正しく連結されていません。キャブ内のインジケータランプ(緑色)の点灯を確認してください。
- ケーブル類およびホース類を接続してください。始めにコントロールライン(黄)を接続してください。次にサプライライン(赤)を接続してください。その後、7極/ABS/4極の各ケーブルを接続してください。最後に、セーフティーワイヤーをベルマウス両側のリングに掛けて完了です。
- トラクタのブレーキペダルを2~3度踏み、ブレーキが正常に作動することを確認してください。
- トラクタ側の操作により全ての灯火器が正常に点灯することを確認して出発してください。



切離し作業

- 連結されているフルトレーラを平らな場所に置き、駐車ブレーキを作用させてタイヤに車輪止めをセットしてください。
- トレーラ前後の補助脚をおろします。ケーブル類およびホース類を取り外してください。始めにサプライライン(赤)を外してください。次にコントロールライン(黄)を外してください。その後、7極/ABS/4極の各ケーブルを外してください。最後にセーフティーチェーンを取り外して完了です。(順序を誤ると自走し重大事故に至る恐れがあります。)



- ベルマウス操作ハンドル若しくはハンドレバーを回し、カップリングピンを引き上げてください。
- トラクタをゆっくり前進させ切離してください。

